

# 地域防災に女性の力を！ 女性の防災担い手研修を開催しました

横浜市では、発災時に開設される地域防災拠点（指定避難所）において、多様なニーズに配慮した運営が行われることを目指して、女性のさらなる参画を促す取組を進めています。

令和7年9月、10月、11月の3回にわたる連続講座として、男女共同参画センター横浜北（アートフォーラムあざみ野）にて、港北区・緑区・青葉区・都筑区の地域防災拠点の運営等に関わる女性を対象に、(公財)横浜市男女共同参画推進協会が企画運営を行い、「女性の防災担い手研修」を開催しました。



研修でご縁を結んだ仲間同士で、修了証書を手にパチリ！



話し合いのノウハウが生かされ、たくさんのアイデアが湧き出ます！

## 第1回目

### 安心できる避難所づくり～市内地域防災拠点の事例を聴く～

男女共同参画センター横浜の職員から「避難所運営に活かす男女共同参画の視点」をテーマに基礎講習を行いました。能登半島地震などの過去の災害では、物資の不足や授乳室・更衣室がなかったこと、性犯罪の発生など、多くの問題に直面しました。安全・安心な避難所となるように、平時からしっかりと備えを行うことが重要です。

次に、和泉禮子さん（旭区東希望が丘小学校地域防災拠点運

営委員長）、古内敏子さん（緑区中山小学校地域防災拠点運営委員長）から、それぞれの地域防災拠点での取組をご紹介します。参加者の皆さんからは、「運営委員を増やすには？」「外国人やマイノリティへの対応は？」など、質問が次々と交わされ、自分の拠点でも様々な工夫を取り入れたいとお声があがっていました。

## 第2回目

### 話し合う力が防災力

避難所には高齢者や外国人の方など、様々な背景を持つ人が集まるため、みんなが安心して過ごせるよう、多様な意見を聞き取り「話し合う力」がとても重要です。

浦山絵里さん（ひとづくり工房 esuco 代表・ナースファシリテーター）によるワークショップでは、相手に伝わる「伝え方

や、ファシリテーターのマインドや技術を学び、参加者同士で話し合いを実践しました。避難所でも見やすい大きな文字の書き方やふせんの使い方など、目から鱗が落ちるような実践的な情報も満載！普段地域で開く会議でも、早速実践したいと盛り上がりました。

## 第3回目

### 避難者の困りごとについて話し合い、解決における取組を考える

災害に備え、神奈川県内の団体の連携・協働を進める谷本恵子さん（災害復興くらし応援・みんなのネットワークかながわ事務局）を講師として、グループごとに、トイレ・衛生・防犯・プライバシー・物資の面から、避難者の困りごとを想定し、運営委員や避難者が様々な課題に対しどんなことができるかを話

し合いました。「必要な物資を相談できる仕組みや物資リストをつくる」「外国人にもわかりやすい避難所のレイアウトやピクトグラムなどの表示もあったほうが良い」など、具体的なアイデアが飛び交いました。最後は、お一人おひとりから、自分自身が今後取り組みたいことを力強く発表いただきました。

### 受講者からのお声

- 他の避難所の方の活動や意欲に沢山触れて大変勉強になり、前向きなパワーをもらった。
- 今まで気づかなかったことを気づくことができ勉強になった。地域に持ち帰って共有したい。
- 女性の仲間を増やすことができた！

横浜市では、今後も全区の地域防災拠点を対象に、取組を進めていきます。多くの方のご参加をお待ちしています！



このコーナーへのお問合せは >>>

横浜市政策経営局男女共同参画推進課 TEL.045-671-2017 FAX.045-663-3431